

令和7（2025）年2月
第463号



お お く て どんど

広報



北・西区のどんど焼き

今年の「どんど焼き」は北西・神田・足又3地区共に1月12日（日）同時開催され、今年1年の無病息災を祈念しました。

主な目次

各地区のどんど焼き	1
蕎麦打ち体験	3
年越マラソン・除夜の鐘	5
新春書初め	6
北中・釜小コミスク	7
大杉音元	9
丸森だより	11
集まろう会	12

大湫各地区の「どんど焼き」

今年の「どんど焼き」は、北西・神田・足又三地区共に、一月十二日(日)に同時開催されました。

北・西区どんど焼き

北区・西区合同のどんど焼きは昨年同様、ふれあい広場前で行われましたが、炊き上げの周りは暖かく、参加者それぞれが今年一年の無病息災を祈念していました。残った熾で、バーベキューをしたり、お神酒を温めたりと身も心も温まる、新年を迎えるに嬉しい行事となりました。

棚橋雅美



(写真：西北どんど焼きで、バーベキューを楽しむ)

神田区どんど焼き

寒さの厳しい曇り空の朝。「おめでとうございます。」と凍えながら口々に、どんどの組み立てを始めました。「今年は門松が少ないね。」などと言いながら、お正月飾りや古い御札、大きな達磨も鎮座し手際よく組み上がりました。点火して徐々に大きくなった火に温まりながら、御神酒をいただきました。子供たちは、書き初めを竹の先に挟んで「上手く舞い上がるかな。」と炎の中へ入れて、微妙な動きに代わる代わる楽しんでいる様でした。熾もでき、用意した、餅や鰯、猪肉などを食

べながら四方山話に花が咲き、時々竹の爆ぜる大きな音に驚きながら、今年一年の無病息災、家内安全を祈りました。

北澤健次



(写真…着火直後の神田のどんど焼き)

足又区どんど焼き

一月一二日、足又区の事始めのどんど焼き。当日の朝から準備の予定で、区長は少し早めに公民館に向かったところ、既に一時間前にもかかわらず準備万端整っておりまして、今か今かと待ち構える面が・・・。
焚火にあたりながら少しばかりの御神酒で口を湿らせ待つこと小一時間。子供たちの手で着火。勢い良く立ち上る煙と炎にこれから始まる一年の無病息災と区内安全を願うひと時でした。

文責：林



(写真…雪がうつつすら積もる冬らしい足又の景色)

蕎麦打ち教室

初めての蕎麦打ち体験

友達に誘われて、初めて蕎麦打ち



の体験をしました。

身近な場所でこんな体験ができるなんて思ってもいませんでした。お

まけに講師の先生がお友達のご主人ということで、安心して参加することができました。二八蕎麦とはそば粉が8割と小麦粉が2割の蕎麦で先生が粉の打ち方や気を付けることを実演して教えてくださいました。その後各自で3人前の分量の蕎麦を打ちましたが、粘土遊びをしている気分で、とても楽しかったです。

仕上げは先生がやってくださったので安心して切る作業に移ることができました。蕎麦切り包丁の扱いは私にはとても難しく不揃いになりましたが、自分だけのオリジナルの蕎麦が出来上がり、家族への嬉しいお土産となりました。

作業が終わった後、みんなで茹で上がったばかりの蕎麦をいただきました。何もかけない蕎麦。お塩をか

けた蕎麦。大根おろしをかけた蕎麦。つゆをかけた蕎麦。いろいろ



ただききましたが、どの蕎麦も本当に美味しかったです。この素敵な体験にまた参加したいなあと思いました。

小川佳織

蕎麦打ち体験

阿木産のそば粉を使い、蕎麦打ちに取り掛かり小栗さんの指導のもと、スムーズに進み試食となった。大根おろし、岩塩、しょうゆをつけて食べると蕎麦の匂いが一段と強くなり、美味しく食べました。自分で切った不揃いの蕎麦を自宅でかけそばにして食べました。

師走に味わったゆとりの一刻でした。

赤岩かつ子

蕎麦打ち体験に参加

12月21日蕎麦打ち体験に参加しました。8割蕎麦を習いました。

各自粉を分けてもらい、こね始めますが、隣の人の出来栄えを気にし

ながら少々焦ります。

こねるのが足りないとか茹でる時に切れてしまうと教わり、これが中々です。最後は先生にまとめていただき出来上がりました。その日の夜、家族で美味しい蕎麦をいただきました。小栗先生ありがとうございました。

板橋京子

蕎麦打ち教室に参加しました

初めてそば打ちをやってみました。教わりながら丸める所までなんとか出来ました。伸ばし広げるのは、上手いかず難しかったです。でも、一緒に参加した方々とワイワイ楽しい時間でした。

力作は3人前持ち帰り、美味しく

頂きました。でもなぜか短くなってしまいました。

小栗保里恵



年越しマラソン・除夜の鐘

例年通り年越しマラソンと除夜の鐘を無事終了することが出来ました。

今年も寒く道路が凍っていました。

年越しマラソンは23時45分にスタートし、約10名参加していただき皆さん滑らないように気をつけながら2キロくらいのコースを走っていました。

108回の除夜の鐘をマラソンに参加して頂いた方やお参りの方、体育委員で撞き、最後に和尚様が撞いて終了しました。心穏やかに新年を迎える。



最後は美味しいお蕎麦を頂き、良い

年越しとなりました。2025年も

体育委員一同で大湊を盛り上げること

が出来る様、頑張りますので皆様のご

協力、ご参加を賜わりますよう宜しくお願いします。

体育委員

公民館よりお知らせ

「大人の社会見学」開催のご案内

日 時：令和7年3月22日（土）

行き先：福井県勝山市（恐竜博物館）・永平寺町（永平寺）

参加費：¥3,000（小学生1,500）昼食込み

※ 申し込みは各戸配布のチラシ申込書にて申し込んで下さい。

申込期限：2月18日（火）までに申し込んで下さい。

新春書初め展

1月6日（月）午前10時より講堂にて、社協大湫支部と公民館共催で新春書初めを開催しました。子どもを含め、総勢24名の参加により、それぞれの願いを込めて書に取り組んでいました。

展示は2月末までロビー展示しております。皆様どうぞご覧ください。



職員募集

募集人員：丸森施設長 1名 丸森職員 若干名

大湫公民館長 1名

募集：令和7年2月25日（月）までに大湫コミュニティセンターまで履歴書を提出してください。

勤務：令和7年4月1日（火）より

その他：詳細については、大湫コミュニティセンターにお問い合わせ下さい。（☎ 63-2360）

非常委員会

総合的な学習の時間

『地域への提言』発表会

去る12月24日北中学校3年生の授業で、『総合的な学習の時間』の授業で、『地域への提言』の発表が行われました。



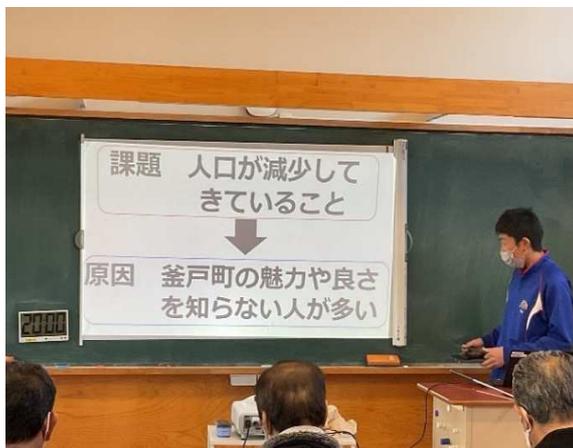
3年生A～C組の各教室でA組7班・B組6班・C組7班により、各班で、校下4地区の環境学習のテーマを決めての発表でした。



その中で、どの地区も共通することは少子高齢化・人口減少・住みよい街づくり・伝統文化の伝承・空

き家対策・自治会離れ等のテーマによるものでした。

どの班もそれぞれの町の問題を



見つけて、これからどの地区でも取り組まなければならない課題の提言の発表が行われていました。

善小学校コミュニティ・スクール

12月24日、3・4年生の授業（図

工）で今年も、木工に取り組んだ児

童の援助に大湫から8名が参加。



3年生はくぎ打ち（くぎうちトント
ン）・大湫神社大杉の材でキーホ



杉の材で、キーホルダー作りを行
いました。教える大人も、昔の腕前



ルダー作り。4年生がノコギリの使
い方（ぎこぎこトントン）・同じく大

を思い出しながら真剣に取り組んで
いました。

『大杉音元』

大湫若手チーム「ててて」 棚橋哲夫

令和2年7月11日に倒木した大杉を忘れないようにと、企画した大杉音元（おすぎおとはじめ）は今年で3回目を迎えることになりました。大杉を使った楽器が多いことから、その楽器を使って音楽をみんなで楽しみたいという思いが発端です。どの企画も大勢の方に参加いただくことができました。スタッフとして手伝っていただいた方、優しくお声掛けいただいた方、ありがとうございました。

「ててて」ではこんな企画やりたい！という思いを実現する「大湫をみんなで誇れる町にする事業」を行っています。どなたでも企画持ち込みできますので、お気軽に棚橋までご相談下さい。将来子どもたちが、大湫はこんな素敵な町なんだ、大人になっても大湫に住みたいと思えるような企画を行っていきたいと思います。

11月10日【志多ら和太鼓ワークショップ、合同演奏会】

愛知県からプロ和太鼓集団「志多ら」から5人のメンバーに来てもらい、志多らオリジナル曲の「楽」のたたき方を優しく楽しく、教えてもらいました。教えてもらった参加者は午後からの合同演奏会で志多らと一緒に舞台上で演奏させてもらい、合同演奏会は満席で立ち見の方も出るほど賑わいました。

【大湫思い出掘り起しワークショップ】

岐阜高専と瑞浪市の企画で人の集まる場所を探していると相談を受け、同時開催させていただきました。岐阜高専の学生たちも多く来てくれて、大湫の懐かしい写真の感想を熱心に聞いていました。

11月24日【ヴァイオリン演奏体験、ヴァイオリンとピアノとソプラノミニコンサート】

ヴァイオリン演奏体験は子どもから大人まで幅広く参加がありました。名古屋市でヴァイオリン教室を開いている斎木美緒さんに、身長に合わせたヴァイオリンを持参してもらい、満席の会場を素敵な音色と歌声で包み込みました。



ヴァイオリン演奏体験風景

※ ヴァイオリン演奏体験についての感想は1月号4ページに掲載済

【大杉を見ながら抹茶会】

抹茶好きな熊谷智代さんの企画で実施した抹茶会です。熊谷さんの先生である林宗厚さんとお弟子さんに来てもらい、抹茶を点ててもらいました。92名の方が参加され、秋晴れの青空の中、大勢の方に抹茶を楽しんでいただくことが出来ました。希望の方には抹茶点ての体験ブースを設け、抹茶に親しんでももらいました。



大杉前でのお茶会風景

抹茶茶碗を寄付していただいた赤岩かつ子さんありがとうございました。地域の方から応援していただけたこと、とてもうれしかったです。

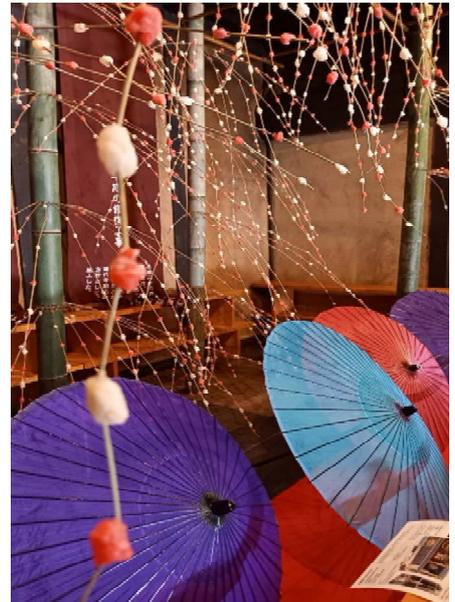


丸森だより

丸森：
旧森川訓行家住宅
国登録有形文化財
瑞浪市観光案内所

2025(令和7)年2月

- ・1月5日(日)より丸森は仕事始めでした。さすがに今日は来館者は見えないと思いきや町外から15名の方が来て下さいました。新春を祝うお正月ムードたっぷりの展示を見て「すごいですね、静かな町もこうした工夫であたたかさを感じますね」と、うれしい言葉を頂きました。
- ・今年の節分は2月2日です。季節を分ける区切りです。季節の区切りには、立春・立夏・立秋・立冬があり、節分は立春の前日を指します。昔は季節の変わり目に邪気(鬼)が生じると信じられていて、それを追い払う為の宮中行事が執り行われていたそうです。その行事が節分の始まりだとか?2月2日は魔除けとして鬼の嫌う柗と鯛を玄関に用意して、鬼は外、福は内と豆まきをしましょう。そして、元気な一年を送りましょう。



□丸森の企画

- ・2月3日(月)より、お雛様の展示です。今年はどうのような展示にしようかと、あれこれ考えています。4月3日(木)桃の節句まで展示して皆様のご来館をお待ちしています。
- ・2月14日(金)はバレンタインデーです。今年も丸森はチョコレートプレゼントを用意してお待ちしています。

※ 先着 20名様とさせていただきます。



来場者数	町外		町内		外国関係	合計
	大人	幼小中高	大人	幼小中高		
12月度	147人	9人	26人	0人	52人	234人
1/15日迄	55人	1人	15人	2人	2人	75人
	R6,4月~	4,116人	オープン~	59,083人	前年同月比	108%

公民館・大湫町コミュニティ推進協議会からのお知らせ

	<p>リ・アップ “ひよも” 《2月のひよもの活動》 『 節 分 』 日 時：2月5日（水）10:00～11:00 頃迄 場 所：公民館講堂</p>
	<p>オススメ！！大湫分室の本 『5分後に意外な結末 ベストセレクション 金の巻』 桃戸 ハル/著 講談社文庫/出版 人気シリーズのベスト版が、文庫で登場です！ 12月の利用者数： 9人 貸出冊数： 21冊</p>
	<p>デマンド交通 12月利用者(大湫～日吉東部) 便 延 34名(稼働率 24.2%)</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; background-color: #fff9c4;"> <p>皆さん、たくさん利用して下さい。</p> </div>
	<p>○特別展「美濃近代窯業の開拓者 曾根磁叟園製陶所」 日時：10月12日（土）～令和7年2月23日（日） 場所：瑞浪市陶磁資料館 瑞浪市明世町山野内1-6 ○「人間国宝 加藤孝造 追悼展」 日時：11月30日～3月16日まで 場所：岐阜県現代陶芸美術館 多治見市東町4-2-4 上記招待券2枚と1枚で2名まで入場出来る招待券が1枚あります。 公民館までどうぞ</p>
	<p>青色回転灯防犯パトロール 2月のパトロール予定者 上旬：小栗 和茂・植村 準 下旬：棚橋 悟 ・奥村 義二</p>

区長日記

新しい年を迎えて早や一ヶ月が経過しましたが、今年はとても寒い日々が続いています。そしてインフルエンザなどの感染症が流行しています。体調管理には十分気を付けてください。

昨年末に大きなニュースが入ってきました。その一つは若竹屋の閉店です。子どもの頃から親しんできたお店で、お祭りの日には小遣いを貰って、カミカン鉄砲などのおもちゃや駄菓子などを買いに行くことがとても楽しみでした。大人になって消防団に入ってから年末夜警では、夜遅く「酒がない、買ってこい」と上席から言われて、若竹屋の裏に回って戸を叩いて買って来た覚えがあります。

また、晩年の母親は手押し車を押して買い物へ行くことがとても楽しみだった様子です。買い物をする楽しみとそこでのコミュニケーションが認知能力を高めて、元気で長生きできたものだと思います。思い出せば切りがありませんが、長い間ありがとうございました。そして、お疲れ様でした。

そしてもう一つは神明神社の池の枯渇です。今日に伝え

られるふるさと大湫では、この「神明様の池」は宿場時代は勿論のこと、明治・大正・昭和を通じて大切な飲用水池でしたし、そして現在も再生した大杉とともに大湫宿の景観になくはない泉です。一時的に注水をして様子を見ますが、原状回復ができるのか注意深く見守っていきたいと思います。

瀬瀬

1月5日 北・西区どんと焼き準備

10日 定例区長会・幹事会

12日 二十歳の祝典 北・西区どんと焼き

18日 JR東海全体説明会

19日 瑞浪市消防出初式

24日 JR東海個別説明会

25日 JR東海個別説明会

30日 連合自治会

31日 瑞浪市制70周年記念事業「未来と自然プロ

ジェクト研究」最終プレゼンテーション

26	24	23	19	17	15	11	9	7	6	5	3	2	日	令和七(2025)年二月行事予定
水	月	日	水	月	土	火	日	金	木	水	月	日	曜	
広報委員会	振替休日	天皇誕生日	公民館・丸森運営委員	釜小学校運営協議会	青少年育成市民会議	建国記念の日	旧小学校法面足場設置作業(夢づくり交付金)	区長会・幹事会	転入対策委員会	リ・アップ「ひよも」 「節分」	財産区全員協議会	足又区 初午	予 定	
不燃ゴミ：2/6 (木) 資源ゴミ：2/21 (金)														

融雪剤あきます



場所：北地区の倉庫に入っています。

利用される方は集計表に名前・月日・利用個数の記入をお願いいたします

編集後記

この所、雨も雪も少なく水源の水が少ない状態の様です。加えて地盤沈下問題。

思い起こせば、高嶋前市長の施策であった未給水地域解消と上下水道整備事業により、大湫にとつては夢であった東濃用水が揚げられ、平成17年6月より上水道と集落排水が共用出来る様になったのです。

あれから約20年以上が過ぎ、誰もがまさかこの様な状態になるとは夢にも思わなかった事です。が、生活用水の確保は出来ているものの、以前から井戸水を使っているご家庭ではそうはいかないようです。一刻も早く湧水を止めることと、代替水源の確保を願いたいものです。

①

編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会
 2024(令和7)年2月1日 瑞浪市大湫町422-1 ☎0572-63-2360
<http://okute-shuku.jp>

表紙写真
大竹市エ門